

会 議	令和5年度座間市自治会総連合会定期総会 議事録
連絡事項	司会より当日の配布資料が2点あることを説明。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市自連「連絡事項」</li> <li>・市老人クラブ連合会創立60周年記念事業のチラシ</li> </ul>
議 題	第1号議案 令和4年度事業報告、収支決算および監査報告について 第2号議案 座間市自治会総連合会規約改定（案） 第3号議案 令和5年度役員（案）について 第4号議案 令和5年度事業計画（案）、収支予算（案）について ※配布資料(事前)：令和5年度 定期総会議案書 (当日)：連絡事項
日 時	令和5年5月27日(土) 13:30～15:30
場 所	ハーモニーホール座間 小ホール
司 会	副会長 和田 好弘
議 長	片井 正興（相武台自治会長）
書 記	山口 久代（事務局職員）
議事録署名代議員	今福 弘（桜田住宅自治会長） 塚脇 透（芹沢東第2自治会長）
出席者	代議員 116名 委任状 121名（代議員総数258名中 237名）  規約10条にある「代議員の3分の2以上の定足数」に達し、定期総会は成立。  傍聴人 なし

## 議事内容

### 【議事】

#### 1) 第1号議案 令和4年度事業報告・収支決算および監査報告

##### (1) 令和4年度事業報告「運営方針の評価とまとめ」について（報告者：湯浅会長）

議案書P2~6に基づき説明。

#### 1. 市自連のあり方の見直し

- ・地区自連のあり方は、課題として、役員のなり手不足や行事の手伝い等の動員負担感等のほか、地区自連独自の事情もあり、全ての地区自連に当てはめられる画一的な対策では解決できないことが分かった。
- ・地域の関係団体（コミュニティ）との連携強化の啓発は、地区自連の区割が小学校区等、他の関係団体の区割と完全には一致せず、多様な区割りであることが地域のまとまりがうまくできない一因と感じた。
- ・単独自治会の扱いの明確化のため、地区自連退会意向の単位自治会には市自連に残ってもらい、現在の「単独自治会」は、市自連に再度組み入れるための課題について検討。市自連への理事選出を求めない、市自連への会費を400円/世帯とすること等を含め、規約改定を理事会で協議し、令和5年度定期総会の議案とした。

#### 2. 防災・減災の意識啓発

- ・危機管理課「感染症対策を踏まえた避難所開設マニュアル」を読み、課題をまとめた。
- ・避難所運営委員会未設立地域に組織立ち上げを働きかけ、他地域の開設訓練を見学してもらい組織立ち上げのきっかけ作りをしたが、まだ設立には至っていない。
- ・安否確認の仕組み作り支援のため、安否確認の仕組みがない単位自治会に事例を紹介したが、単位自治会全体に向けての展開はできていない。
- ・自主防災組織リーダー等研修会は、同じ地区自連から複数人に参加してもらい、研修会で得たノウハウを地区自連に浸透させ易くなるようにした。
- ・市消防本部の訓練施設などの研修環境を地区自連に周知して利用を勧め、単位自治会が利用した。

#### 3. 防犯活動の支援

- ・座間防犯協会のパトロール車運転に必要な「パトロール実施者証」の取得、更新のため座間警察署に協力いただき、講習会を実施した。
- ・行政等が推進する防犯パトロールに協力し、行政への実績報告もしたが、それらを何に使用し、何を改善しようとしているのかについて、行政との意見交換会でも議題として話し合った。

#### 4. 環境美化活動の支援

- ・秋の一斉美化デーの際、枝、落葉の回収用にコーヒー豆の麻袋を使用した。ビニール袋と異なり破れなくて良かった反面、口が閉じにくく等の意見もあり、一長一短だった。
- ・自治会長研修会では、ゴミ集積所の事前申請と分別収集の徹底を啓発した。

## 5. 加入促進活動の推進と支援

- ・ 会員への福利厚生としての地域クーポンについて、行政や座間市商工会に協力を依頼。店舗に協力をお願いし、令和5年度からの実施に向けて推進した。
- ・ 福利厚生や災害への対応等で自治会活動の価値を上げていくことが必要であることは確認したが、詳細は議論が進まなかった。
- ・ 単位自治会が抱える課題として、役員のなり手がいないことが最大のものと改めて認識した。負荷の軽減と運営の工夫が必要だが、具体的な方策までには至っていない。
- ・ 自治会加入状況は40%程度と非常に厳しい状況、コロナ禍の影響もあり退会世帯が多い。そのような現状のなか、加入促進活動として、市庁舎1階市民ホールで年度末の加入促進キャンペーンを実施。効果は薄いだが、加入推奨活動をしている姿を市民や市職員にみせ、啓発することは大事と考え、実施した。
- ・ 座間市民ふるさと祭りに出店、自治会等の活動状況のパネル掲示と加入勧奨した。
- ・ 座間市災害時避難行動要支援者登録名簿の受領を単位自治会に働きかけ、受領率は93%まで向上したが、前年度登録名簿の行政への返却率が低いのでその点の改善は必要。

## 6. 広報の充実

- ・ 機動的で柔軟な広報のため、他の広報媒体活用を検討し、LINEオープンチャットやLINE公式アカウントの調査を行い、来年度以降の活用に向け活動した。

## 7. 地区および単位自治会へのお役立ち活動の充実

- ・ 単位自治会でのスムーズな引き継ぎに役立つよう「自治会長研修会資料」の内容を充実させ利用を促進した。

主な記載事項：年間5回の配布物配達スケジュール

秋の一斉美化デーで出た剪定枝や草木類、土嚢等の回収の仕方  
コミュニティ助成事業について等。

## (2) 令和4年度収支決算（報告者：大矢会計）

総会議案書P19に基づき説明。

年度当初予算は25,000世帯で組んだが、実績は24,857世帯。

- ・ 主な収入内訳について

行政からの補助金、単位自治会会費、  
市社会福祉協議会や赤十字社座間支部からの協力金など

- ・ 支出について

事業費) 市民レク未開催地区自連があり、補助金の執行率は58%にとどまった。

総務費) 自治会員優待制度のため、一部取りやめた事業もあった。

繰越金) 会員世帯数減のため、例年より減額した。

## (3) 監査報告（報告者：荒川 洋雄会計監事）

令和5年4月6日に令和4年度収支決算の監査を行い、適正に処理されている旨報告。

(4) 質疑応答

- ・事前質問書 1 件。

自治会加入状況についての執行部の認識と加入促進活動の実効性について

(質問者：相模が丘第 4 自治会代議員)

※事前質問の回答は、議事録に盛り込んだので、該当箇所を参照してほしい。

- ・当日の質問は、無し。

(5) 採決

議長が採決を諮り、第 1 号議案は賛成の挙手多数で承認。

2) 第 2 号議案 座間市自治会総連合会規約改定 (案) (提案者：湯浅会長)

(1) 規約改定を提案する理由

現行の規約が地区自連に属さない単位自治会は市自連に属さず「単独自治会」になる、専任理事の定義や職務が不明確等、課題が多くあるため。

(2) 改定案として提案した主な点

- ・地区自連を退会しても市自連の加盟自治会とする、そのことを「地区自連に属さない単位自治会」と定義した。
- ・理事は「理事」「副理事」とし、市自連での理事の役割をより明確にし、理事会への出席も原則「理事」のみとして理事の負担を軽減し、また、事業を執行した年度の理事や役員には議決権がないことも明記。
- ・「部会」は市自連の役員、理事、副理事が事業計画として掲げたことを遂行することが大きな役割で、規約にある「目的」を果たすことが主目的である。
- ・自治会員の位置づけや単位自治会が主体であることを明確にした。

(3) 質疑応答

- ・事前質問書 2 件。

①「地区自連に属さない単位自治会」とはどういう自治会かについて

②「部会」は何をし、何のためにあるのかについて

(質問者：相武台中央自治会代議員)

※事前質問の回答は議事録に盛り込んだので、該当箇所を参照してほしい。

- ・当日の質問は、無し。

(4) 採決

議長が採決を諮り、第 2 号議案は、反対者が挙手することで採決した。

反対 1 名で承認。

### 3) 第3号議案 令和5年度役員(案)(提案者:和田選考委員長)

(1) 選考委員長から令和5年度役員(案)が読み上げられた。

(2) 質疑応答

- ・事前質問と当日の質問、無し。

(3) 採決

議長が採決を語り、第3号議案は賛成の挙手多数で承認。

議長により、「役員(案)」の(案)の削除が宣言された。

### 4) 第4号議案 令和5年度事業計画(案)・収支予算(案)

総会議案書P44~47をもとに、提案者からそれぞれ提案がなされた。

(1) 令和5年度事業計画(案)(提案者:湯浅会長)

今年度は「魅力あるコミュニティ創り」を目標に掲げた。

事前質問で「目標」から前年度は掲げていた「防災活動の推進」を無くした理由を問われているが、防災を軽んじているわけでは決してない。今年度も防災関連も重点的に取り組んでいくが、目標として、会員減少への対応を前面に出したということ。

#### 1. 地区自連および単位自治会へのお役立ち活動の充実

- ・自治会長研修会の促進と支援のため、活動についてスムーズに引き継ぎできるように「自治会長研修会資料」を充実させ、その利用を促進し、要望があれば役員が地区自連に説明に行く。
- ・市との意見交換会を通して、地域の課題等について行政と情報を共有し、地域がより良くなるよう協働する。

#### 2. 市自連のあり方の見直し

- ・地区自連のあり方の見直しとして、前年度の現状や課題の把握に基づき、各地区自連の事情を踏まえて、個別の課題の解決に向け、地区自連の皆様と共に検討する。
- ・自治会運営は強制力を緩めた運営に移行したい。そのために必要ならば、地区自連の再編や自治会の合併や分割もあり得ることと思う。必要なら、規約等のルール体系や内容の見直しもしたい。

#### 3. 防災・減災の意識啓発

- ・各避難所運営委員会の活動状況を把握し、運営委員会未設立地域の組織立ち上げを後押しする等、状況に応じて活動の促進を図る。
- ・安否確認の仕組み作りは、単位自治会の現状を把握し、仕組みが未設定の単位自治会に事例を紹介する等して、一時(いつか)集合場所等の仕組みづくりを支援する。

#### 4. 研修会

- ・各種研修会は、地区自連や自治会が主体となって視察研修を行うよう啓蒙し、市自連は実施に向けてのサポートをする。

## 5. 加入促進活動の推進と支援

- ・地域クーポンのさらなる展開を進め、協賛店舗を更に増やすことを目指す。
- ・自治会の存在意義を確認し、自治会の強みを生かした価値を明確にするため、わかりやすい自治会加入メリット(利点)を提案する。
- ・加入促進活動としてイオンモール座間に協力いただき、自治会活動の紹介を行う。
- ・宅建協会や不動産協会との連携について、事前質問で協定締結がかなり前のことであり、有効なのか、というご質問をいただいた。有効であるが、改めて内容を見直し、必要ならば、再締結したいと思う。

## 6. 広報の充実

- ・ホームページ以外の広報媒体として、LINE 公式アカウントの活用を具体的に検討する。
- ・ホームページ閲覧推進のため、LINE 公式アカウントからのプッシュ通知も試行したい。

### (2) 収支予算(案) (提案者：大矢会計)

#### 令和5年度予算案の主な点

- ・会員数24,000世帯で組んだ。
- ・加入率低下に歯止めがかからない。抜本的な経費節減が必要なことから、全戸配布広報紙「ふれあい」は、1回/年度の発行とする。
- ・補助金増額を行政に求めている意見もある。行政からの市自連への補助金の7割は単位自治会や地区自連への交付金として支出し、人件費や事務費等の固定費もある。市自連の経費を見直す中で事業費を捻出し、そうした中で必要ならば、補助金のことも行政との話題になってくると考える。

### (3) 質疑応答

- ・事前質問書3件。
  - ①令和5年度事業計画(案)の目標から「防災活動の推進」を削除した理由について
  - ②県総合防災センターに赴き情報収集や災害体験活動することへの支援について

(①と②質問者：相模が丘第一自治会代議員)

- ③市自連事業としての加入促進活動の有効性
- ④市自連が宅建協会や行政等と締結している協定書の有効性について

(③と④質問者：相模が丘第四自治会代議員)

※事前質問の回答は議事録に盛り込んだので、該当箇所を参照してほしい。

- ・当日の質問1件。

「自治会員優待制度」について(質問者：さがみ野さくら自治会代議員)

Q.協賛店舗には助成金を支出しているのか。

A.出していない。この制度の主旨に賛同してくれた店舗ができる範囲でサービスを提供してくれており、他市にある店舗も何件か協賛店舗になっている。

Q.市商工会にも協力依頼をしたのか。

A.依頼した。商工会を通して2店協力してくれたが、その他は役員や理事が自分達で店を回り、協力をお願いした。大規模店は本部の確認がいるといわれ、結果、ほぼ断られた。

Q.今年度、冊子はもう一回発行するのか。

A.未定である。予算も厳しく、優待制度のホームページを見てもらうのが基本になると思う。協賛店舗情報の更新はすぐ行うので、適宜、確認してほしい。

#### (4) 採決

議長が採決を諮り、第4号議案は賛成の挙手多数にて、承認された。

議長により、「令和5年度事業計画(案)・収支予算表(案)」の(案)の削除が宣言された。

#### 5) 議長解任

すべての議事が終了し、議長及び書記が解任された。

議

長

片井 正興 

議事録署名代議員

今福 弘 

議事録署名代議員

塚脇 透 